



第270号

行 館 民 集 会  
千 代 公 民 館  
広 報 委 員 会  
有 限 会 社 飯 田 写 真 印 刷  
＜千代の人口＞  
平成25年8月末日現在  
男 880名  
女 954名  
合 計 1,834名

## チームプレー溢れる スーパー ティーボール大会

八月十八  
日（日）千代  
山村広場に  
おいて第十  
二回スー  
パーティー  
ボール大会  
が、早朝か  
ら体育委員  
が準備した  
二面のコー  
トを使い行  
われた。



千代公民館・自治振興セン  
ターの新築工事が始められた  
為、以前よりコートが減らし  
てのコートレイアウトとなっ  
た。

早朝より空はスッキリと晴  
れ渡り、開会式では既に気温  
が上昇し始め、準備運動でも  
汗ばむ様なかで開始された。

今回は多少ルールが改正さ  
れた点があり、又、参加チー  
ムの編成も連合を踏まえた形  
が整って来た事で、各チーム  
のメンバーにもそのチームの  
特徴が反映されていた。緻密  
なプレーを行う強豪チーム、  
和気あいあいでのかなづな



## 体感！ 「栃の木 ツアー」 家庭・学校では できない 体験、地域で

好天の続いた七月十三日  
（土）、青少年育成委員会が  
中心になり、地域の案内人の  
方にご指導を受けながら、小  
学生向け「万古栃の木ツアー」  
が行われた。

当日は、小学生二十九名、  
保護者十九名、先生五名、委  
員十六名の計六十九名の参加  
者があり、千代の大自然を体  
感しながら、険しい道のりを  
踏破した。

千代小を出発しバスを降り

## 万古溪谷 桂の木ツアー

木下貴文

七月十四日（日）に「桂の  
木ツアー」が行なわれた。

参加者四十名は、七時半ま  
でに千代小学校で受け付けを  
し、マイクロバス二台で法山  
振興センターへ移動した。



急な山肌を一気に下ると、飯  
田市天然記念物である栃の木  
が荘厳な姿を見せた。

案内人の一人である関口兼

善さんより、「栃の木は樹齢  
七〇〇年以上であること、自  
分がこの巨木を見た時に他の  
人にも見せたい！という思い  
からこのツアーが始まった。」  
等の説明を聞いた。

唐沢の滝で、子ども達は滝

壺に入って泳ぎ、アメノウオ

を捕まえたり、案内人の方の

用意してくれた流し素麺を食

べて歓声をあげていた。

地域の方々の見守る中、子

ども達は貴重な体験ができた。

## 二十年越しの復活 夏祭り

七月二十八日（日）野池神  
社祭礼に合わせ二十年近く途  
絶えていた夏祭りが復活した。

神社境内にある「信濃國農  
村舞台」は、江戸時代一八二  
三年文政六年に建てられ約二



〇〇年の歴史をもつ。この農  
村舞台の老朽化に伴い長野県  
地域元気づくり支援金活用事  
業を利用し、修復が進められ  
ている中での夏祭りである。  
前日より当日午前中にか



八岐大蛇のようにも見えた。  
木の近くに腰を下ろし屋食  
を食べてから帰路についた。  
往路の登りに比べ、復路の  
下りは脚の筋肉に負担がか  
かったが、全員無事に唐沢の  
滝にもどり、記念写真に納ま  
ることができた。

て屋根シート、ステージや客  
席、屋台の準備が行われた。  
午後一時半、野池神社祭礼  
がとり行われ、午後三時より  
夏祭りメインの芸能大会が始  
まった。芋平地区獅子舞、そ  
して小沢重貴子さんの飛び入  
り参加で2曲を披露。千代不  
動太鼓、来賓の方からは祝福  
のご挨拶と歌が披露、その他  
ダンス・芝居・木遣り・合唱  
やカラオケなど一〇の芸能プ  
ログラムの発表を楽しんだ。  
境内の脇では、焼き鳥・焼  
きそば・綿菓子・かき氷など  
六つの屋台が並び用意された  
メニューは次々と完売。大い  
に賑わった夏祭りであった。

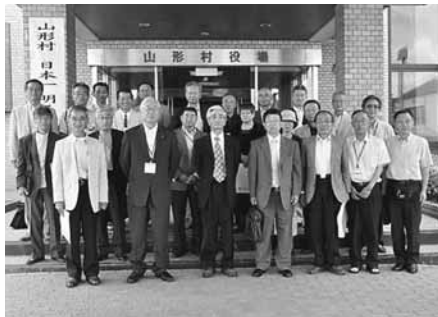
お盆行事.....  
**米山夏の祭典  
& 法山夏祭り**  
恒例行事、米  
川夏の祭典と  
法山夏祭りが  
開催された。  
米川夏の祭  
典は、夜店が  
出て、輪投げ  
や射的、金魚

## まちづくり委員会 山形村へ 研修に行く

総務社会部長 北澤 勉  
まちづくり委員会は、六月  
二十三日（日）総勢二十一名  
で山形村へ研修に行つて来ま  
した。山形村村長は今年二月  
の村長選で民間から初当選し  
た、百瀬久村長（六三歳）で  
す。「元気な村」を目指し「自  
立を選択し自立で繁栄」と訴  
えています。そして、『日本  
一明るく元気な村にしよう』  
と目標を立て村政を担ってい  
ます。百瀬村長には千代まち  
づくり委員会との意見交換を  
快く引き受けて頂き研修会が  
実現されました。山形村もか  
つては、産業も無く農業も出  
来ない大変な村であった様で  
す。平地が多い為河川が無い  
のが原因です。村の努力で水  
路を確保し、逆手を取って長  
芋の一大産地を実現し、大型  
店舗の誘致や大きな映画館設  
備等の積極的な効果と松本、



塩尻地区のベッドタウンとし  
て人口は毎年増加の状況です。  
研修会の結論は「悪い所ばか  
り気にしていないで、千代の  
良い所をもつと前向きに見出  
して自立しよう」となりまし  
た。



## イナズマ

夏の季語でもある「夕立」  
涼を誘う風情のある言葉であ  
る。しかし、最近では、夕立  
という言葉に取って代わり、  
雷雨、ゲリラ豪雨、局所豪雨  
など災害を引き起こす言葉が  
増えているように思える。

今年の夏は「猛暑」で今年  
は、六月七月は、お天気が  
で梅雨の期間も雨が降らず、  
水不足が心配され、八月の中  
旬位までは猛暑で高温続き、  
高知の四十度では、四十一度  
という過去最高の気温を記録  
おまけに四日間連続四十度  
以上と記録づくめの暑さで  
あった。一転、八月中旬以降  
には集中豪雨や局地的豪雨で  
西日本では記録的大雨による  
災害が多発し、トドメは関東  
で二日続けて竜巻が発生し家  
屋全壊などの被害をもたらし  
た。こうした天気関連の  
ニュースがない日はなかった  
ような気がする。高温・局地  
的豪雨・竜巻被害と記録ラッ  
シュの「異常気象」であった。  
このような状況の中、気にな  
ることが、去年の夏は電力  
不足に備えて省エネというこ  
とが盛んに言われていたが、  
今年の夏は、去年に勝るとも  
劣らない暑さで渇水という  
ニュースはあったが、電力不  
足という話は聞かなくてこな  
かった。省エネという言葉も  
流行で終わってしまったので  
はないだろうか。何か不思議  
に思う。  
九月に入りまだまだ日中は  
暑さが続くが、朝晩のひんや  
りとした空気が秋を感じ、季  
節の移り変わりを感ずる。ま  
るで、今年の夏も何事も無  
かったかのように・・・



